

証券知識普及プロジェクト^(注)では、中立・公正な立場から社会人現役層全般（特に投資未経験者）への金融・証券知識の普及・啓発及び金融リテラシーの向上を目的として、10 月 4 日の「投資の日」を中心に全国各地でセミナー等を実施した。その開催実績は以下のとおりである。

(注)「証券知識普及プロジェクト」は、日本証券業協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会の証券団体等が参加し、中立・公正な立場から長期的・継続的に証券知識の普及・啓発活動を推進している。

1. 「投資の日」記念イベント

各地区の特色を活かした普及・啓発イベントを、全国 9 地区 21 会場で開催した。

【平成 27 年度「投資の日」記念イベント 開催結果一覧】

地 区	会場数（会場）	申込者数（名）	参加者数（名）
東 京	1	7 2 8	4 4 7
大 阪	1	1, 0 3 4	6 9 1
名古屋	4	1, 9 8 7	1, 1 1 5
北海道	2	6 0 6	4 5 2
東 北	2	4 1 3	2 3 1
北 陸	3	2 7 2	2 3 7
中 国	4	4 7 6	3 5 8
四 国	3	4 2 2	3 2 4
九 州	1	3 6 6	2 6 2
合 計	2 1	6, 3 0 4	4, 1 1 7

2. その他の普及・啓発活動

イベント・セミナーの他に、多くの一般市民に証券投資の意義や金融・証券知識習得の重要性について考えていただくきっかけとなることを目的に、以下の活動を行った。

(1) 東京会場採録広告の掲載

東京会場の概要（特に投資の意義・魅力等）を取りまとめ、後日、全国紙（日本経済新聞・読売新聞・朝日新聞）により情報の拡散を図った。特設サイトにも詳細版を掲載し、証券知識普及プロジェクト団体における SNS・メールマガジン等でも本採録についてご紹介いただいた。

(2) 「投資の日」特製ポケットティッシュの作成・配布

「投資の日」特製ポケットティッシュを作成し、協会員に対して店頭等での配布方の協力を依頼した。27 年度は 73 社からの申し込みがあり、協会員を通じて広く一般へ 414, 300 個配布した（26 年度（うちわ配布）108 社 140, 800 枚）。

(3)「投資の日」記念イベント PR の実施

東京・北陸地区にて、「投資の日」記念イベント街頭 PR を実施した。東京では、個人投資家である桐谷広人氏をお招きして実施し、北陸地区では、地区の会員等の協力を得て実施した。

(4)みんなチャレンジ「投資の日」クイズの開催

投資に関心の低い層に対する興味・関心の喚起を図るため、また、本協会メールマガジンへの登録を促すことを目的として、気軽に参加できる内容の“みんなチャレンジ「投資の日」クイズ”を特設サイトにおいて開催した。正解者の中から抽選で 213 (ニーサ) 名に、特製とうしくん QUO カード等の賞品をプレゼントした。(応募件数 7,590 件)

(5)「投資の日」記念イベント特設サイト

「投資の日」記念イベント等に係る情報を発信するため、本協会ホームページに特設サイトを開設した。協会ホームページにおけるバナー掲載や新聞広告等の各媒体を通じて特設サイトへの誘導を図り、トップページアクセス数は 12 月末時点で 27,011 アクセスであった。

(6)NISA 相談コーナーの設置

全国各地のイベント会場 (18 会場) のロビー等において、NPO 法人エイプロシスの証券カウンセラーを配置した「NISA 相談コーナー」を設置し、中立・公正な立場から NISA やジュニア NISA の制度に関する質問・照会 (延べ 204 件) に応じた。

(7)証券知識普及プロジェクトマスコットキャラクター「とうしくん」着ぐるみの貸し出し等

「投資の日」期間 (9 月から 11 月) に、協会員 (12 社) が開催するイベントに着ぐるみ及びキャンペーン用ノボリを貸し出した。

以 上